

# 大津市民病院（滋賀県）

## 病床数

506 床

## 病院の特徴

昭和12年の開設以来、湖都大津を中心に県内公的医療機関の中核病院として、総合的な医療提供はもとより高度先進的医療を行っています。JR膳所駅より徒歩10分と便利な上、美しいびわ湖と比叡山を一望できる絶好の位置にあります。

平成 11 年の新病院の開設を契機に、公立病院としてはいち早く緩和ケア病棟、神経難病病棟、第一種感染症病棟を新設し、現在 27 診療科と 16 中央診療部門の構成で、急性期医療からガン・難病診療に至るまで地域医療支援病院としての役割を果たしています。平成 15 年からは救急医療システムを改めて「ER おおつ」として、24 時間 365 日救急診療を提供する体制を整備し、臨床研修の場としても活用しています。平成 22 年 8 月から最新鋭の「消化器内視鏡センター」をオープンし、併せて「脳卒中センター」の総合的診療体制の整備を行い、より安心・安全な医療提供に努めています。

医科・歯科臨床研修病院指定、ISO9001(品質マネジメントシステム)、災害拠点病院(地域災害医療センター)、地域医療支援病院、難病拠点病院、臓器提供病院、開放型病院、緩和ケア病棟、指定感染症病床(第1種2床、第2種6床)、滋賀県地域がん診療連携支援病院などの指定及び認定、各種学会から多数の教育施設認定を受けています。

## 医師数

133 名(常勤 107 名、非常勤 26 名)(2011 年 5 月 1 日現在)

## 初期研修医定員 1年次

基幹型 4 名(2011 年実績)/たすきがけ 2 名(2011 年実績)

## 〃 2年次

基幹型 4 名(2011 年実績)/たすきがけ 1 名(2011 年実績)

## 処遇

身分: 研修医(大津市嘱託職員)

給与: 1年次29万円(月額)、2年次32万円(月額)

通勤手当、副直手当(1回 1万円)を別途支給

賞与: 年2回 1年次602,040円/年(2010年度実績)、2年次1,004,800円/年(2010年度実績)

保険: 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・病院賠償責任保険・勤務医賠償責任保険に加入

健康管理: 年1回健康診断を実施

休暇: 有給休暇、特別休暇あり

研修活動: 学会参加費、旅費等を支給する(上限あり)

宿舎: 院内宿舎あり(8名分)

## 研修プログラムの特徴

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけることが目的です。将来の進路にとらわれず初期治療、救急医療などの基本的な知識・技術を修得すると共に、患者の立場に立って思いやりと気配りのできる医師が目標です。

臨床研修は自己研鑽が基本です。知識や技能の修得はもちろんですが、人格の涵養に重点を置き、医師としての人格教育を基本に探究心と医の心をもち社会人としても尊敬される医師の養成を目指します。

研修には急性期医療のほかに感染症(1類、2類、結核)、神経難病、緩和医療、回復期リハビリテーション、さらに医療の質・安全管理室の活動を通じて医療安全や感染症管理も学びます。

## 指導医から学生さんへのメッセージ

少ない研修医を多くの指導医が丹念に指導し、育てる方針です。

消化器、循環器、脳・神経疾患及びER型救急部等は複数診療科の連携でフル稼働し、血液浄化部、感染症科などは特化部門です。

救急は北米型ERで5名の専任救急医が担当し、年間患者数は18,097人、救急車の搬入は2,870件です。院内に消防局の救急隊が常駐しています。剖検は2名の病理医により常時可です。

研修プログラムは毎年見直します。9月に、全研修医と指導医、プログラム責任者、臨床研修責任者等が宿泊研修(リフレッシュ研修)、より良い研修プログラム、研修環境などを話し合います。

初期臨床研修は、医師が生涯を通じてもっとも多くのことを学ぶ時期で、この期間に医師の基本ができます。常に患者に向かう姿勢、真摯に医療に取り組む態度、一生学び続ける習慣等、奥の深い臨床医学の第1歩を踏み出すにあたり、病院をあげて若い医師を支援します。

## 研修スケジュール(年間)

(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一年次	内科						麻酔科		精神科 産婦人科	救急	選択科目	
二年次	救急		地域医療		選択科目							